

2月12日(日)

第1会場

11:00~12:30 パネルディスカッション2

メインホール

デバイス患者の遠隔モニタリングの現状と課題

【概要】

本邦にCIEDs (Cardiac Implantable Electronic Devices) の遠隔モニタリングが導入されてから数年が経過した。この間、新規メーカーの参入、有線から無線へのテレメトリー方法の進化、従来の電話回線からモバイルへの通信手段の革新、通院回数の減少のみならず心不全管理への応用、指導管理料の保険償還など、その進歩は著しい。しかし、メーカーによりモニタリング方法が異なる、利用可能なCIEDsと不可能なものが混在する、施設により関与する職種や役割分担に差がある、アラート送信時の緊急対応への不安、遠隔モニタリングと対面診療との適切な保険請求の組み合わせが分からないなど、未だに問題点も多いのが現状である。

それぞれの施設の在り方にあわせた遠隔モニタリングの運用方法を確立することが重要であり、現在のところ正解があるわけではない。そこで本セッションでは、積極的に遠隔モニタリングに取り組んでいる施設からパネリストを迎え、実際の運用方法を知ることによって現状を把握するとともに問題点を抽出したい。本システムの導入を躊躇している、導入を予定している、または導入はしたもののその運用にとまどっている施設において、医師、臨床工学技士、看護師など、CIEDs治療に関わる全てのスタッフに役立つ内容にすべくプログラムを作成する。

〔座長〕 阿部 芳久 秋田県成人病医療センター循環器科
高木 雅彦 大阪市立大学大学院医学研究科循環器病態内科学

1. Device Monitoring Experience at the US Veterans Affairs National Cardiac Device Surveillance Center (NCDSC)

VA medical Center, CA, USA ○Dr. Keung

2. メーカー毎の差と使い分け

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科 ○西井 伸洋

3. 遠隔と対面クリニックの使い分けと保険請求の実際

榊原記念病院循環器内科 ○井上 完起

4. 心不全の管理への応用

弘前大学大学院医学研究科不整脈先進治療学 ○佐々木真吾

コメンテーター：

亀田総合病院循環器内科 ○鈴木 誠
済生会熊本病院臨床工学部 ○堺 美郎